第4章 特定健診・特定保健指導の結果の通知と保存

1 特定健診・保健指導のデータの形式

国の通知「電磁的方法により作成された特定健康診査及び特定保健指導に関する記録の取扱いについて（平成20年3月28日健発第0328024号、保発第0328003号）」に基づき作成されたデータ形式で、健診実施機関から代行機関に送付されます。

受領したデータファイルは、特定健康診査等データ管理システムに保管されます。

特定保健指導の実績については、特定健康診査等データ管理システムへのデータ登録を行います。

2 特定健診・保健指導の記録の管理・保存期間について

特定健診・特定保健指導の記録の管理は、特定健康診査等データ管理システム（電子媒体）及び保健指導記録（紙媒体）で行います。

特定健康診査・特定保健指導の記録の保存義務期間は、記録の作成の日から最低5年間または、加入者が他の保険者の加入者となった日の属する年度の、翌年度の末日までとします。ただし、保険者が記録を必要と認めるときにはその限りではありません。

3 個人情報保護対策

特定健康診査等の実施に当たっては、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）及び同法に基づくガイドライン等に定める役員・職員の義務（データの正確性の確保、漏えい防止措置、従業者の監督、委託先の監督等）について周知徹底をするとともに、浦添市個人情報保護条例についても周知徹底を図り、個人情報の漏えい防止に細心の注意を払います。

第5章 結果の報告

1 支払基金への報告

支払基金（国）への実績報告を行う際に、国の指定する標準的な様式に基づいて報告するよう、大臣告示（平成20年厚生労働省告示第380号）及び通知で定められています。

実績報告については、特定健診データ管理システムから実績報告用データを作成し、健診実施年度の翌年度11月1日までに報告します。

第6章 特定健康診査等実施計画の公表・周知

1 特定健康診査等実施計画の公表方法

- 広報誌にて概要を掲載します。
- 関係者及び関係機関へ冊子を配布します。
- 市のホームページに概要を掲載します。

2 特定健康診査等を実施する趣旨の普及啓発の方法

- 市の広報誌に掲載して普及啓発を図ります。
- 健康診査の取りまとめ時に概要を記載したチラシを同封し、周知を図ります。
- 市のホームページに掲載して、普及啓発を図ります。
- 健診協力者等を通じて、対象者への普及啓発を図ります。
- 被保険者証と特定健診受診券の一体化によって、特定健診の普及を図ります。
- 自治会、医療機関等で趣旨を説明し、普及活動を図ります。

第7章 特定健康診査等実施計画の評価及び見直し

1 特定健康診査等実施計画の評価方法

(1) 評価方法及び評価時期（年度）

ア 特定健康診査・特定保健指導の実施率の評価

前年度の健康診査・保健指導の結果データから集計し、国への実績報告を作成する中で数値を把握し、それを評価に活用します。また、評価の時期は原則として、毎年実施します。

イ メタボリックシンドロームの該当者・予備群の減少率

平成 20 年度実施分の健康診査結果データによる国への実績報告ファイルと、平成 29 年度実施分の国への実績報告ファイルとを比較し、両ファイルにおけるメタボリックシンドローム該当者・予備群の割合等を用いて 10 年間での減少率を算定し、実施計画上での目標値と比較します。

ウ その他（実施方法・内容・スケジュール等）

実施計画上の内容と、実際の実施状況・結果や利用者の満足度（調査結果）等と総合的に比較し、計画通りで順調なのか、計画通りにはなっていないが順調なのかなどを整理します。評価の時期については、平成 27 年度に実施するほか、その他の年度についてもできる限り実施します。

(2) 特定健康診査等実施計画の見直しに関する考え方

実施計画については、前述した点検・評価の結果を活用し、必要がある場合は、毎年見直しを行います。見直しの時期は、実績報告時期である翌年 11 月 1 日を目安として行います。

第8章 その他

特定健康診査等の円滑な実施をしていく上で、衛生部門等とも協力体制を図り「生涯元気に暮らせる健康づくりの推進」を目指します。

1 他の健診との連携

- (1) 浦添市国民健康保険では平成 23 年度から衛生部門と協力し、特定健康診査とがん検診が同時に受診できる「総合健診」を実施しています。そのことにより、市民の利便性を図ることだけでなく、がん検診受診率の向上に繋がり、市民の健康管理が保たれます。
- (2) 特定健康診査は、国民健康保険に加入している 40 歳から 74 歳までの限られた方を対象としています。しかし、市民に生活習慣病の予防並びに生活習慣を改善する取り組みを促すには、さらに若い世代からの働きかけが重要です。そこで本市ではメタボ予防の観点から「30 代健康診査」を実施しています。
- (3) 特定健康診査受診後の検査結果により、発症予防や重症化予防の視点から、動脈硬化検診（75g 糖負荷検査・頸動脈エコー検査・尿中微量アルブミン検査）を二次検診として行っています。

2 他健診受診者データの収集

- (1) 浦添市国民健康保険の被保険者であっても、パート勤務等により職場での健診を受けるなど、他の健診を受診している場合が考えられます。これらの被保険者についても、受診結果を提供してもらえよう周知を図っていきます。

用語解説

用語	解説
γ-GTP(γ-GT)	γ-グルタミールトランスペプチターゼの略称。タンパク生成の材料となるグルタミン酸の代謝を媒介する酵素。アルコールに敏感に反応し、肝臓や胆道の病気があると異常値を示す特徴がある。
BMI	体格指数のことで、肥満の程度を知るための指数。 BMI=体重(kg)÷(身長(m)×身長(m)) 一般的に 18.5 未満は「やせ」、18.5 以上 25 未満は「標準」、25 以上 30 未満は「肥満」、30 以上は「高度肥満」。
CKD	慢性腎臓病のこと。腎臓の働き (eGFR) が健康な人の 60% 以下に低下する (eGFR が 60ml/分/1.73 m ²) か、あるいはタンパク尿が出るといった腎臓の異常が続く状態をいう。
COPD	慢性閉塞性肺疾患のこと。長期にわたり気道が閉塞状態になる病気の総称で、慢性気管支炎、肺気腫、びまん性汎細気管支炎等があり、原因の一つに喫煙があげられる。
eGFR	腎臓の機能を表す指標で、血清クレアチニン値をもとに糸球体濾過量を推定した値。 *18 歳以上の場合の計算式 eGFR=194×クレアチニン(mg/dℓ) ^{-1.094} ×年齢(才) ^{-0.287} (女性は×0.739)
GOT(AST)	グルタミン・オキサロアセティック・トランスアミナーゼの略称。アミノ基の転換を触媒する酵素。肝臓、胆道系の病気の診断に有効な検査。
GPT (ALT)	グルタミン・ピルビク・トランスアミナーゼの略称。アミノ酸の代謝に関与する酵素。GOT(AST)が他臓器に分布するのに対し、GPT(ALT)は肝に多く含まれる。肝臓、胆道系の病気の診断に有効な検査。
HbA1c	ヘモグロビン A1c の略称。赤血球のタンパクであるヘモグロビン(Hb)とブドウ糖が結合したもので、何種類かある中の糖尿病と密接な関係を有するもの。過去1ヶ月~2ヶ月の平均血糖値を知ることができる。
HbA1c (JDS 値)	ヘモグロビン A1c の日本標準値のこと。6.1%以上を糖尿病型とする。
HbA1c (NGSP 値)	ヘモグロビン A1c の国際標準値のこと。6.5%以上を糖尿病型とする。(社)日本糖尿病学会によると、2012年4月1日より、現行の血糖コントロールの指標と評価に用いられた HbA1c (JDS 値) を HbA1c (NGSP 値) に換算した値を用いることになっているが、特定健診・保健指導では 2012年4月1日~2013年3月31日の期間は従来通り JDS 値のみを用いることになっており、2013年4月1日以降の取り扱いについては関係者間で協議し検討することになっている。

用語	解説
HDL コレステロール	俗に善玉コレステロールと呼ばれる。タンパク質と結合したコレステロールの一種。血管の壁などに余計に付着しているコレステロールを回収する働きをする。
LDL コレステロール	俗に悪玉コレステロールと呼ばれる。タンパク質と結合したコレステロールの一種。HDL コレステロールが血管の壁などに余計に付着しているコレステロールを回収する働きをするのに対して、LDL コレステロールは肝臓から末梢組織へコレステロールを運搬する働きをするため、値が基準値より高い場合、動脈硬化などを誘発する危険性がある。
PDCA サイクル	典型的なマネジメントサイクルの1つで、計画(plan)、実行(do)、評価(check)、改善(act)のプロセスを順に実行する。最後の act では check の結果から、最初の plan の内容を継続(定着)・修正・破棄のいずれかにして、次回の plan に結び付ける。このらせん状のプロセスを繰り返すことによって、維持・向上及び継続的な業務改善活動を推進するマネジメント手法のこと。
血清クレアチニン	筋肉運動のエネルギーとして代謝されるクレアチンの代謝後に残る老廃物のことで、腎機能が正常に機能しているかを知ることができる。
中性脂肪	主に食事に含まれる脂肪が分解、吸収されたもの。エネルギーを体内に貯蔵するための形態で、血液中の中性脂肪が増加した状態が続くと動脈硬化を促進する一因になる。
尿中微量アルブミン	尿に出現する微量のタンパク(アルブミン)を定量測定するもので、糖尿病の早期腎障害の指標となる。
メタボリックシンドローム	内臓脂肪症候群のこと。内臓脂肪型肥満に加えて、高血糖、高血圧、脂質異常のうちいずれか2つ以上を併せ持った状態のこと。(略称:メタボ)
メンタルヘルス	精神的な疲労、ストレス、悩み等の軽減・緩和とサポートのこと。こころの健康。
レセプト	診療報酬明細書の略称。保険医療機関が保険者に保険請求するための請求明細書のこと。
ロコモティブシンドローム	運動器症候群の略称。運動器の障害により、要介護になるリスクの高い状態になること。変形性関節症、骨粗鬆症等がある。